

(お知らせ)

平成29年7月19日
京都市保健福祉局
〔担当：障害保健福祉推進室〕
TEL：222-4161

伝統工芸の継承×障害のある方の雇用の融合 ～障害のある絵付け師の「和ろうそく」が誕生しました！～

京都市では、「支えあうまち・京都ほほえみプラン」に基づき、障害のある方の福祉的就労から一般就労への移行に向けた取組を進めています。

この取組の一環として、障害者雇用に意欲があり、雇用に際し、そのノウハウを必要としている事業者等に対し、障害者雇用促進アドバイザーの派遣費用等を補助する「京都市障害者就労支援アドバイザー派遣等支援事業」（以下「アドバイザー派遣等支援事業」という。）を実施しています。

この度、「アドバイザー派遣等支援事業」を活用した（有）中村ローソク（本社：伏見区）において、今年3月に障害のある方の雇用が実現し、その方が絵付けした「和ろうそく」が販売[※] されましたので、お知らせいたします。

※ 販売場所：おつかいもの本舗寺町六角店（中京区寺町六角下ル）
販売期間：7月～8月

社長 田川広一さんの声

絵付けは非常に細かく、根気のいる作業ですが、障害のある方の中には、集中力が途切れることなく1日に20本以上も仕上げる方もいて、その方の特性に合った作業を提供することで、専門的知識を身に付けることができます。

今回、採用したAさんは絵のバランス感覚に優れ、最近、店頭に並ぶ他の商品に見劣りしないほどの出来栄えとなってきたため、障害のあるなしに関係なく、伝統工芸品として市場に出すことにしました。

後継者不足に悩む伝統産業分野において、障害のある方が新たな担い手として活躍するという、まさに伝統文化と福祉の融合だと考えています。



京都市障害者就労支援アドバイザー派遣等支援事業

障害者雇用に意欲があり、具体的に雇用を進めるに当たり、障害のある方が働ける職域の設計や特例子会社設立等のノウハウを必要としている事業所等に対し、障害者雇用促進アドバイザーの派遣等に要する費用補助を行う。(平成23年度～)

(障害者雇用促進アドバイザー派遣例)

- ・各種助成制度の活用に係るアドバイスや申請手続き代行
- ・障害者の求人から定着支援までのサポート
- ・障害者雇用及び事業計画の検証に係るアドバイス

○ (有) 中村ローソク[※]での具体的な取組

障害のある方が和ろうそくの絵付けを簡単に体験できるよう、作業分解する中で考案した絵付けキットを作成し、市内にある障害者福祉事業所の利用者を対象とする絵付け体験を行った。体験では、特定の絵柄を「見本を見て下絵から描く」、「型紙で下絵を写し着色する」、「描かれた下絵に着色する」の中から体験者が選択して実施した。体験者の中から6名を選考した後、同じ作業を繰り返し続けることができるか等、絵付け師としての適性を見極め、1名の雇用につなげた。



【和ろうそくの絵付けキット】

※「(有) 中村ローソク」1887年創業

今日まで伝統的な製法による和ろうそくの老舗(本社:伏見区)

平成28年にアドバイザー派遣等事業に選定。アドバイザーの支援を受けながら障害のある方の雇用を検討し続け、今年3月、精神に障害のある男性1名を雇用した。

絵付け

高さ約12センチ、直径約2センチの小さなろうそくに、細筆で絵を描く作業



和ろうそく

職人の手で一本一本つくられる「和ろうそく」は、京都の伝統工芸品の一つです。しかし、安価な洋ろうそくの生産拡大や生活スタイルの変化とともに需要は低迷し、他の伝統工芸と同様、職人の高齢化や後継者不足などの深刻な課題を抱えています。